

原職忠書之判ト見ユ所謂吏部少卿ハ船橋宣賢
卿十リ

寛政ノ初廣澤手書ノ雜記ヲ得タリ其中ニ國初
西洋ノヤヨンスアンシム兩人曆算ノ爲ニ江戸
へ召サレヤヨンスニ賜ハリシ屋鋪ノ地ヲ治容
千河岸トイヒアンシムニ賜ハリシ屋鋪ノ跡ヲ
安針町トイフ由ヲ辨テ町年寄奈良屋カ家ニ彦
坂壹岐守ノ證文ヲ傳フ其文ニ増上寺跡ノ地安
針町ナニニ三人支配スヘキ由ヲ注サレ増上寺
ハ元安針町ノ辺ニ在リケリ件ノアンシム後ニ

姓名ヲ三浦安針ト下サレタルナト記セリ町年
寄ノ家ニハ此類ノ古證尚存スヘシ縁山ノ旧地
其四至ノ詳ナルヲ辨セス今カ、ル富庶ノ市
宅トナルヲ目出タキ御代ニアラスヤ

人情鬼神ヲ怖ルトイヘトモ亦好テ鬼神ヲ談ス
サレハ今ノ街談巷説十カ七八怪異ヲ主張ス聖
人元ヨリ神怪ヲ語リ玉ハス行道ノ人ハカ、ル
トニ詞ノ費スマシキヲ先達往々然ラサル者ア
リ神異搜神述異錄異等ヲ始トシテ古來神異ヲ
記セシ書頗多シ是其一場ノ話説トスルノミニ